より付加価値の高い補修工法

TOAの薄層オーバーレイ工法



雨天時の視認性や安全性を高めた

ＰＯＳＭＡＣ-ＳＴ



NETIS登録番号:KT-230020-A

耐久性を高めた

クイックコート



NETIS登録番号:CG-250009-A

TOA 東亜道路工業株式会社

〒106-0032　東京都港区六本木7-3-7　TEL 03-3405-1813

はじめに

アスファルト舗装を健全な状態で維持していくためには、路盤以下の層への雨水の浸入を抑制することが重要です。そのためには、舗装の状態を定期的に点検し、点検結果に応じて適切に処置することが必要になります。舗装のひび割れは、路盤以下の層への雨水の浸入経路となりますので、シール材注入工法やパッチング工法などにより止水しますが、これらの工法を繰り返し実施すると、走行安全性や沿道環境などの路面のサービスレベルは低下していきます。そこで、路面の機能やサービス性能を改善しつつ舗装を補修する技術として、既設の舗装上に厚さ2～3 cm程度のアスファルト混合物を敷きならす薄層オーバーレイ工法があります。

ここでは、東亜道路工業の薄層オーバーレイ工法として、付加価値のある「POSMAC-ST」と「クイックコート」についてご提案します。予防保全として実施することで、舗装の長寿命化を図ることもできます。また，簡易な舗装修繕工法としてもご採用いただけます。


シール材注入工法

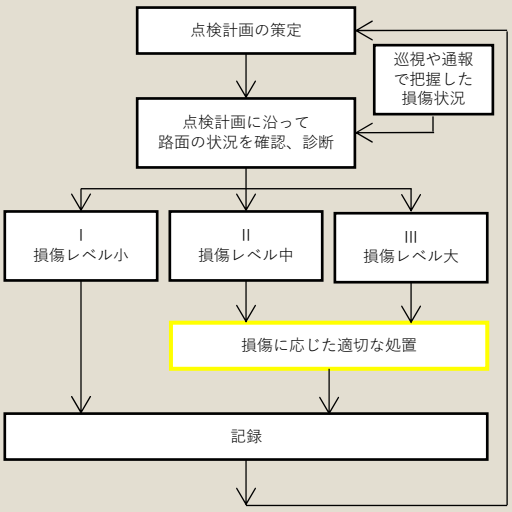

パッチング工法


わだち部オーバーレイ工法

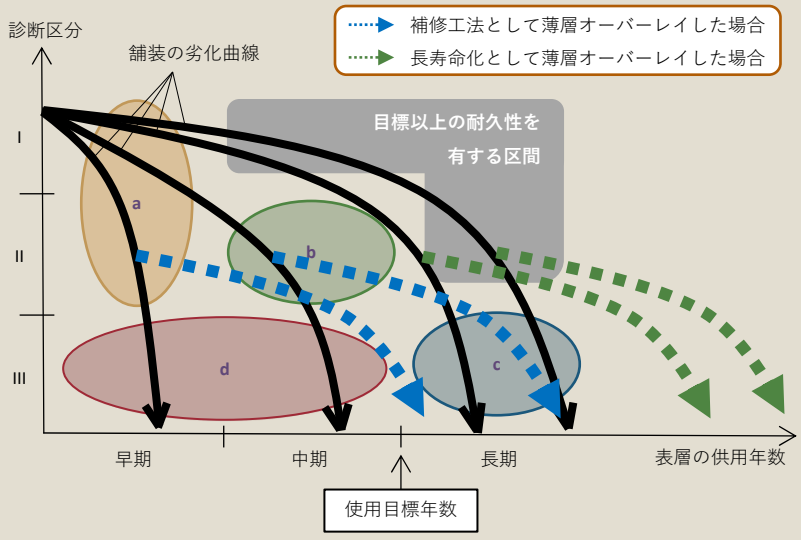
アスファルト舗装の診断区分と工法

区分		状態	工法
I	健全	管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態である。	予防保全工法（シール材注入工法、フォグシール・チップシール等の表面処理工法、パッチング　等）
II	表層機能保持段階	管理基準に照らし、劣化の程度が中程度である。	（対ひび割れ）シール材注入工法、フォグシール・チップシール等の表面処理工法、パッチング、わだち部オーバーレイ工法（レーンパッチング）、薄層オーバーレイ工法　等 （対わだち掘れ）切削工法、パッチング、わだち部オーバーレイ工法（レーンパッチング）　等
III	修繕段階	管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が予見される状態である。	III-1（表層の供用年数が使用目標年数を超える場合）：切削オーバーレイ（表層等）等 III-2（表層の供用年数が使用目標年数未満である場合）：詳細調査・修繕設計をした上で路盤を含めた舗装打換え工法、路盤の強化（セメント安定処理等）、コンクリート舗装やコンポジット舗装への変更　等

メンテナンスフロー（分類C、D）



表層の供用年数と診断区分の関係



参考：舗装点検要領（平成28年10月 国土交通省道路局）

POSMAC-ST

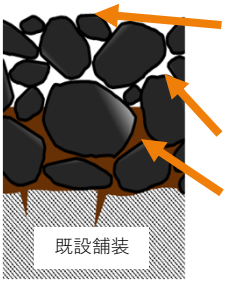
遮水型開粒度薄層オーバーレイ工法
NETIS登録番号:KT-230020-A

POSMAC-STは、最大粒径13mmの加熱アスファルト混合物を既設舗装上に薄層で敷きならす遮水型開粒度薄層オーバーレイ工法です。
幹線道路等の排水機能や騒音低減機能，すべり止め機能などが求められる路線に適しています。

- 排水性能：ポーラスアスファルト舗装と同程度の透水性能により雨天時の走行安全性を確保
- 遮水性能：高濃度アスファルト乳剤の多量散布（1.2 L/m²）による遮水効果向上により基層を保護
- 工期短縮：SPAFにより乳剤散布と混合物敷きならしを同時施工



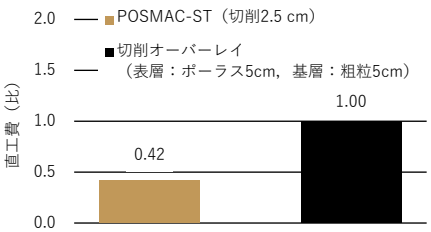
SPAF：
乳剤散布装置付きアスファルトフィニッシャ



舗装表面：**路面テクスチャの改善**
→・路面摩擦回復と沿道環境（走行騒音）改善
・雨天時の視認性向上による走行安全性の確保

混合物上部：**開粒度アスファルト混合物による排水機能**

混合物下部：**多量散布された乳剤による既設舗装の保護**
→・既設舗装に対する遮水効果の向上
・既設舗装との付着力確保
・既設舗装路面からのリフレクションクラック抑制

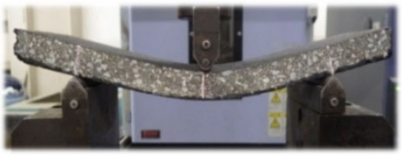


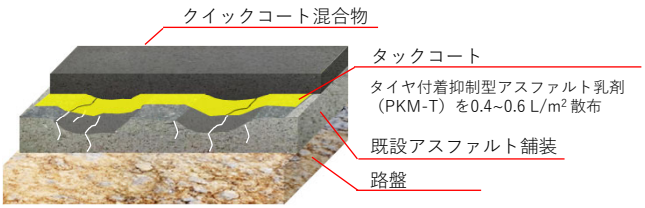
クイックコート

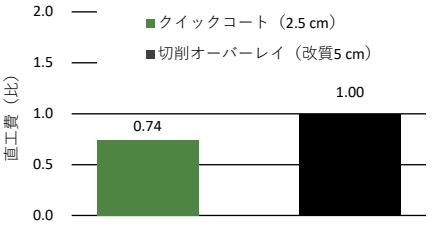
高耐久型薄層オーバーレイ工法
NETIS登録番号:CG-250009-A

クイックコートは、最大粒径5mmの加熱アスファルト混合物を既設舗装上に薄層で敷きならす高耐久型薄層オーバーレイ工法です。
ひび割れが進展しているアスファルト舗装などのリフレクションクラックの発生が懸念される箇所に適しています。

- 耐久性：耐流動性や骨材飛散抵抗性、既設舗装との接着性に優れ長寿命化に寄与
- ひび割れ抵抗性：特殊バインダにより高いリフレクションクラック抑制効果を実現
- 施工性：一般的なアスファルト舗装と同様に施工可能



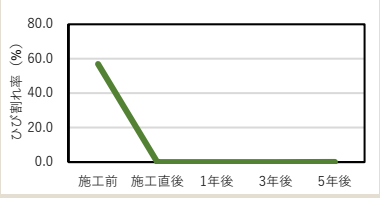




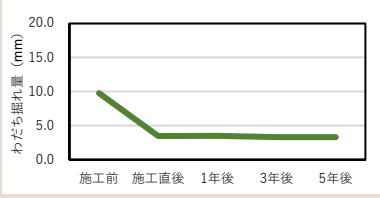
供用5年後も良好な路面状態を維持しています。



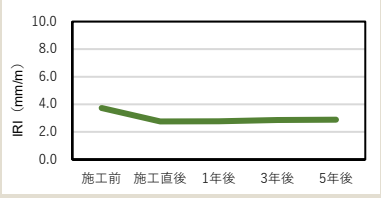
ひび割れ率



わだち掘れ量



IRI



※ 舗装計画交通量はN_4です。幅の広いひび割れについては、シール材注入工法を併用しています。

このような路面にもご採用いただけます。







東亜道路工業株式会社

本社	〒106-0032	東京都港区六本木7-3-7	TEL03(3405)1811 代表
技術研究所	〒300-2622	茨城県つくば市要315-126	TEL029(877)4150 代表
北海道支社	〒007-0825	札幌市東区東雁来五条1丁目1-18	TEL011(781)8511 代表
東北支社	〒980-0811	仙台市青葉区一番町3-3-20京阪仙台一番町ビル	TEL022(225)6591 代表
関東支社	〒106-0032	東京都港区六本木7-3-7	TEL03(3423)0231 代表
北陸支店	〒956-0015	新潟県新潟市秋葉区川口580-26	TEL0250(24)1600 代表
中部支社	〒459-8001	名古屋市緑区大高町字二番割72-1	TEL052(602)8900 代表
関西支社	〒550-0011	大阪府大阪市西区阿波座1-13-13西本町中央ビル5F	TEL06(6585)7580 代表
中四国支社	〒732-0052	広島市東区光町2-14-16	TEL082(568)2951 代表
九州支社	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南1-8-31九州ビル6F	TEL092(471)6936 代表